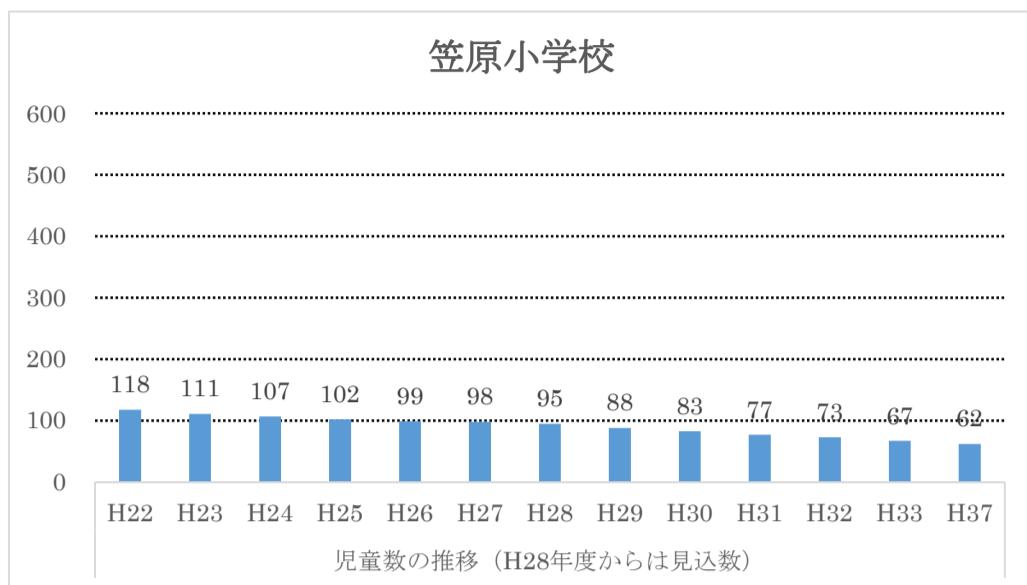
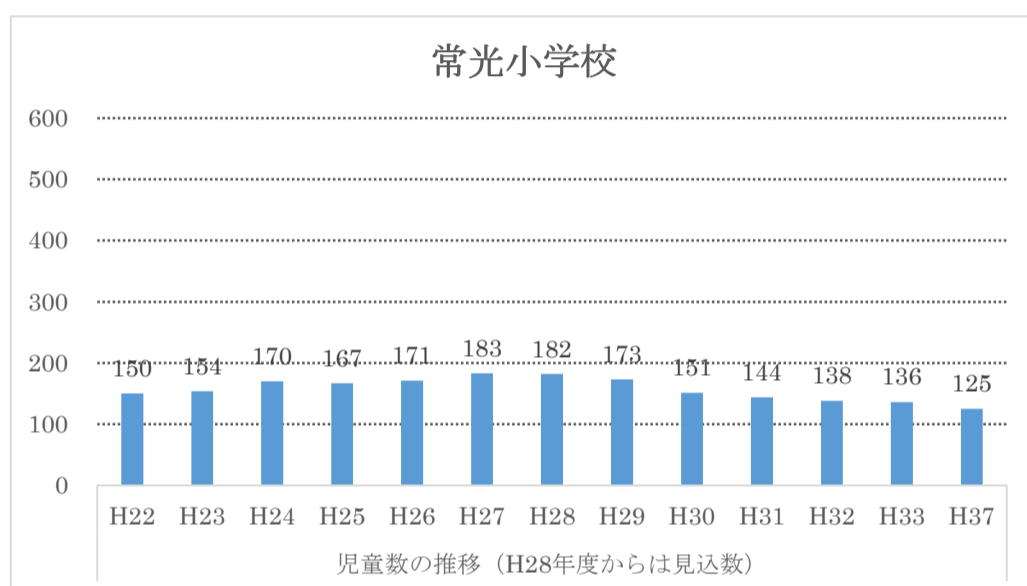


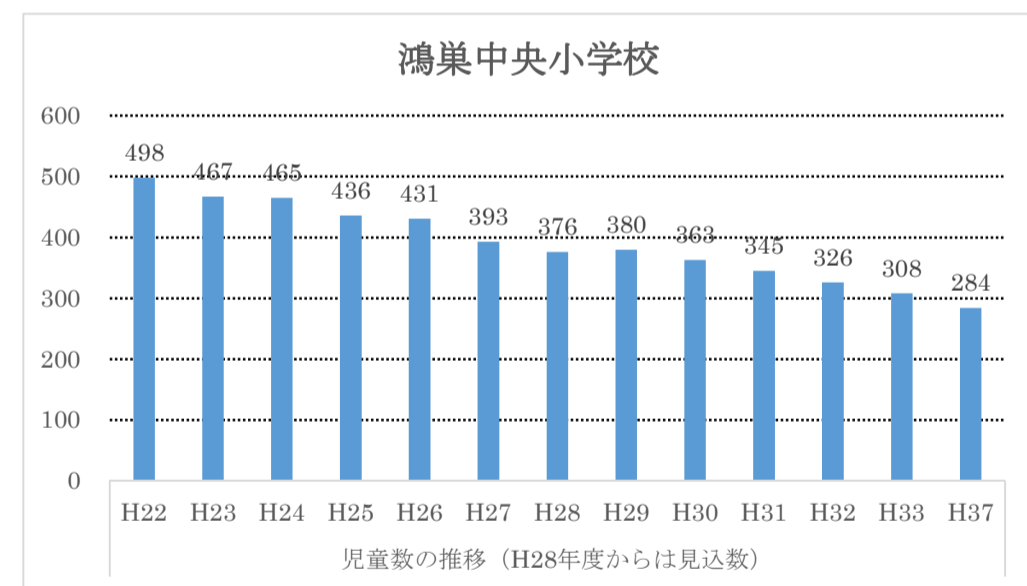
●笠原小学校・常光小学校・鴻巣中央小学校児童数の現状



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
児童数	118	111	107	102	99	98	95
学級数	6	6	6	6	6	6	6
	H29	H30	H31	H32	H33	H37	
児童数	88	83	77	73	67	62	
学級数	6	6	6	6	6	6	



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
児童数	150	154	170	167	171	183	182
学級数	6	6	7	7	7	7	7
	H29	H30	H31	H32	H33	H37	
児童数	173	151	144	138	136	125	
学級数	7	6	6	6	6	6	



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
児童数	498	467	465	436	431	393	376
学級数	16	15	16	14	13	12	12
	H29	H30	H31	H32	H33	H37	
児童数	380	363	345	326	308	284	
学級数	13	13	12	12	12	11	

鴻巣地域の適正配置の考え方

○笠原小学校は、市内で児童の数が最も少ない小学校となっており、将来的には複式学級になることも予想されております。現在、笠原小学校通学区域である安養寺地区の児童は通学距離が遠いという理由から、「通学区域の弾力化」の適用により鴻巣北小学校に通学しています。安養寺地区の児童も含めて、笠原小学校通学区域全体で鴻巣中央小学校への通学区域の変更について、地域のみなさんの意見を伺いながら、適正配置に取り組んでいきます。

○常光小学校は、10年後の児童数を見ても100人を超えている小学校ですが、少子化が進むと将来的には100人以下の規模になると予想されます。このことから将来を見据え、子どもたちの通学する小学校について、地域のみなさんのご意見を伺いながら、適正配置に取り組んでいきます。

○笠原小学校、常光小学校の適正配置を検討する上で、通学距離が遠くなることからスクールバスの導入や適正配置後の学校施設利用なども含めて、適正配置に取り組んでいきます。